



1人1台のパソコンを活用した授業が 始まります!



保護者の皆様へ

うるま市では、全国の小・中学校が対象となっている「GIGAスクール構想(文部科学省)」に基づき、1人1台のパソコンを活用した授業を始めまいります。

子ども達が成人して社会で活躍する頃には、絶え間ない技術革新等により、社会や職業のあり方そのものが大きく変化する可能性があります。

そうした時代を乗り越えるため、子ども達は主体的に考え、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていくことができる資質・能力を育むことが求められています。

学校では、これまでの教育を大切にしつつ、激動する社会で強く生きていくために、ICTを活用した学習活動に取り組む未来の学校づくりをはじめまいります。



保護者の皆様には、こうした時代の変革にご理解いただき、ICTを活用した学習活動にご理解をお願いします。

※GIGAスクールの「GIGA」とは、データの大きさを表すギガバイトの「ギガ」ではなく、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字を取ったものです。直訳すると「全ての人にグローバルで革新的な入口を」となり、令和元年に文部科学省が提唱した学校教育におけるICT環境整備に関する構想です。

どんな職業でもICTが必要となってきます。



これからの子ども達に必要な資質・能力を、パソコンを活用して育む教育が

「GIGAスクール」です。

これからの学びは、先生から「教えてもらう」ものから、「自分で学ぶ」ものへと変わります。

自分から調べたり、まとめたり、意見を出し合ったりする道具として、自分専用のパソコンを活用します。

また、自分で課題を見つけ、解決を目指す学習にも挑戦させていきます。

※パソコンは授業などで学習活動のために使うことを目的に、学校から一人ひとりに貸与します。

投げたり、踏んだり、水をかけたりなど“故意または重大な過失”により破損させた場合には、修理費などを保護者に負担していただく場合があります。

子ども達には、学校備品を大切に扱うことについて、家庭でもご指導をよろしくお願いします。

(※パソコンの家庭への持ち帰りは、今後検討してまいります。)

裏面も確認ください

本市では、ICTの特徴・強みを活かし、GIGAスクール構想が目指す、多様な子ども達を誰一人取り残すことなく、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現に取り組みます。

※うるま市がめざす子ども像（うるま市GIGAスクール構想推進ビジョン（令和2年9月））

主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解し、
多様な人々と協働して新たな価値を見出したり、問題を解決しようとする子

身に付ける資質・能力



- 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
- 情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する力
- 相手や状況に応じて情報を適切に発信したり、発信者の意図を理解する力
- 他者との協働や複数の情報を結びつけ、新たな価値を見出したり、自分の考えを深めたりする力
- 情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度
- 情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度



1人1台パソコンではない環境

1人1台パソコンの環境

一斉学習	教師が電子黒板等（大型掲示装置）を用いて説明し、子ども達の興味関心意欲を高めることはできる
個別学習	全員が同時に同じ内容を学習する（1人1人の理解度等に応じた学びは困難）
協働学習	意見を発表する子どもが限られる

学びの進化

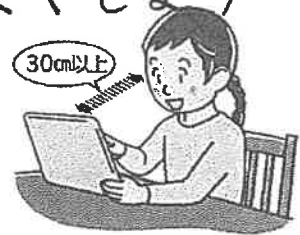
学びの転換

<ul style="list-style-type: none"> ・教師は授業中でも1人1人の反応を把握できる → 子ども達1人1人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に 	
<ul style="list-style-type: none"> ・各人が同時に別々の内容を学習 ・個々人の学習履歴を記録 → 1人1人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能 	
<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の考えをお互いにリアルタイムで共有 ・子ども同士で双方向の意見交換が可能に → 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる 	

タブレットを使うときの5つのやくそく

□ タブレットを使うときは姿勢よくしよう

- ・タブレットを見るときは、
目から30cm以上はなして見よう。



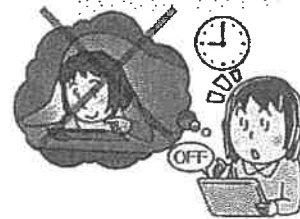
□ 30分に1回はタブレットから目をはなそう

- ・30分に1回はタブレットの画面から
目をはなして、20秒以上、遠くを見よう。



□ ねる前はタブレットを使わないようにしましょう

- ・ぐっすりねるために、ねる1時間前からは
デジタル機器を使わないようにしましょう。



□ 自分の目を大切にしよう

- ・時間を決めて遠くを見たり、
目がかわかないようにまばたきをしたりして、
自分の目を大切にしよう。



□ ルールを守って使おう

- ・ 分使ったら1回休む、学校のタブレットは
ぺんぎょうに関係のないことに使わないなど、
学校やおうちのルールを守って使おう。

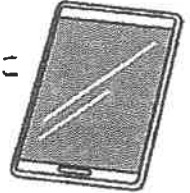


— 1人1台端末の時代となりました —

ご家庭で気をつけていただきたいこと①

□ 端末を使うときの健康面の注意点について

端末を使うときの健康面でのポイントを、本人の習慣として身につけられるよう、学校でも指導しますが、特に低年齢のお子さまの場合などは、保護者の方にも気にかけていただけると効果的です。



注意点！



① 目を、画面から30cm以上、離して使う

☞ そのためには、良い姿勢を保つことが重要です。お子さまの成長に応じて、机と椅子の高さを正しく合わせることも必要です。

② 30分に1回は、20秒以上画面から目を離して、遠くを見る

③ 部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを調整する

☞ 一般には、夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する際よりも、明るさ（輝度）を下げます。

☞ 画面の反射や画面への映り込みを防止するために、画面の角度も調整します。

※①や②は、紙の本や資料を読む場合でも重要です。

ご家庭で気をつけていただきたいこと②

□ 端末の利用時間等のルールについて

ご家庭で過ごす時間全体の中で、ご家庭で用意したデジタル機器も含めて、端末を、いつどのように使うか、お子様と話し合うことが大切です。



<最低限、守っていただきたいこと>

- ・ 少なくとも、寝る1時間前からは、デジタル機器の利用を控えるようにします。

☞睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され寝つきが悪くなります。

- ・ 学校で配られた端末は、学習に関係ない目的では使いません。

健康面に気をつけて使う場合でも、デジタル機器を使う時間があまりに長くなると、人と人とのリアルな関わり合いや、自分の感覚や行為を通して理解する学習、地域社会での体験活動などの時間も、少なくなってしまうます。

成長期のお子様のバランスの良い発達の観点からも、(使い方にもよるため、一概に何時間までならOKということはいえませんが)、お子様がさまざまな経験や活動ができるよう、ご家庭でもデジタル機器全般の使い方について、この機会にお考えください。

□ 端末の安全な利用について

お子様のインターネット使用時や、スマートフォンを持たせる際には、インターネット上の犯罪等の被害者や加害者にならないようにするなど、適切な指導が必要です。

☞フィルタリングは、お子様にとって不適切な情報へのアクセスを遮断したり、インターネットでのトラブルを防いだりするのに役立ちます。

ご家庭で用意するデジタル機器に、携帯電話会社などが提供するフィルタリングサービスを活用することについてもご検討ください。

※端末の利用時間等のルール及び安全な利用については、保護者向けリーフレット「保護者が知っておきたい4つのポイント」もご参照ください。

